

ギガ きたくの GIGA スクール

ひとりいちだいたんまつ

「1人1台端末」導入に向け、準備を加速！

第3号 2020年(令和2年) 10月20日








発行 北区教育委員会事務局

・GIGAスクール構想推進プロジェクトチーム




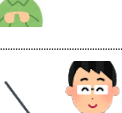

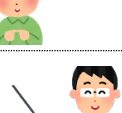
・教育振興部 教育政策課

北区は、令和3年度から、『1人1台端末』の環境による教育が実践できるよう、取り組んでいます。今回は、『GIGAスクール構想』の実現に向けた「区の取組状況」について、ご紹介いたします。










★ 区立小中学校の教員参加によるワークショップを開催

	先週、区立小中学校の先生が集まって、「GIGA スクール構想に向けたワークショップ」を開催したと聞いたけど、どんな内容だったの？
	『1人1台端末』の学習環境を見据えて、北区の教育が目指すべきビジョンや、学校における活用促進に向けた工夫などについて、GIGA スクール稼働に向けた本格的な検討を始める前に、できるだけ多くの先生の意見や意向を把握するため、開催しました。
	具体的に、どんな話し合いが行われたの？
	まず、教育環境向けのアプリケーションを提供している「クラウド型ソフトウェアサービス」(G suite for Education) の機能で、どんなことができるかを共有しました。テストやアンケートの管理、ファイル保存・同時編集、スケジュール管理、Web 会議など、さまざまなことが、効率よくできるようになるということを学びました。
	グループごとのディスカッションでは、各班6名ずつ、8つのグループに分かれて意見の交換がされたようだけど、どんな意見が出されたの？
	『1人1台端末』となったら実現できることについて、たくさんのアイデアが寄せられました。連絡帳や学校だより等の電子化、オンラインの保護者面談、調査アンケートの電子化、AI(人工知能)を使った一人ひとりに応じた電子ドリルなど、多種多様なアイデアが出されました。
	GIGA スクールを成功させるためには、できるだけ多くの意見を取り入れて作り上げることが必要ということだね。可能性が無限に広がる『GIGA スクール構想』。いまから、とても楽しみ。




★ 構築支援事業者によるサポートのもと、区と学校とが一体となり準備を進める

	『GIGA スクール構想』に基づく運用が始まる来年4月まで、あと5か月あまり。ワークショップのことは分かったけど、ほかに区の取組は、進んでいるのかな？
	『GIGA スクール構想』の環境を構築するためには、ICT(情報通信技術)に関する知識や技術を備えた専門業者の支援なしに進めることができない。そこで、ICT に精通した大学の先生や区立小中学校を代表する校長先生に参画してもらい、選定委員会を組織し、意見を伺いながら「構築を支援するサポート事業者」の選定を行ってきました。
	合計約2万台の学習用端末をスムーズに導入にして、上手に活用していくためには、プロのノウハウが必要不可欠なことだね。それで、どんなことを支援してもらうの？
	端末の調達、機器の運用保守、通信ネットワークの整備など、『GIGA スクール構想』という一大プロジェクトを成功させるための仕組みづくりや技術の支援をしてもらう。また、学校の先生が円滑に活用できるよう教職員向けの研修の企画や実施をサポートしてもらう予定です。
	『GIGA スクール構想』の取組を成功させるためには、端末を用意するだけでなく、いろいろなことを進めなければならないんだね。学校とも、いろいろ相談していかなくてははいけないし。
	そのとおり。GIGAスクール推進に向けた基本的な考え方を決めるプロジェクトチームや、実務的な検討を行う運用検討委員会を組織し、区と学校が一体となり進めていく予定です。

◎学習用端末は、「Chrome（クロム） 端末」を導入予定

	来年 4 月に配備する「学習用端末」の選定や調達は、進んでいるの？ 端末について、文科省の基本モデル例では、「Windows（ウインドウズ） 端末」、「Chrome（クロム） 端末」、「iPad（アイパッド） 端末」の 3 種類が提示されているけど。
	導入する「学習用端末」については、「構築支援事業者選定委員会」において、事業者からの提案をふまえ、大学の先生や校長先生と一緒に検討を進めてきました。その結果、「Chrome 端末」を導入することを決めて、すでに約 2 万台の調達準備も行っています。
	これまで学校で使っていた「Windows 端末」や、「iPad 端末」、あるいは日頃から愛好しているパソコンと異なる機種に、抵抗がある先生もいるんじゃない？
	「1 人 1 台端末」は、就職したら役立つであろう特定メーカーのソフトウェアを習熟するために導入するわけではありません。『GIGA スクール構想』の目指す「個別最適化された学習」や「協働学習」、「時間や場所を選ばない学び」などをスムーズに実現させるもの。幅広い可能性をもたらす新たなツールとして、これまでのイメージや意識を払拭させることが肝心です。
	未来志向で、考えることが大切なんだね。 ところで、「Chrome 端末」は、どんなメリットがあるの？
	世界中で 3 千万人以上が利用しており、教師と生徒が利用するために設計されたシンプルな端末です。動きがサクサクと軽く、初期設定や OS のアップデートも素早い。バッテリーのもちもよく、耐久性も優れている。「G suite for Education」など、クラウド（インターネット上のサービス）との親和性も高い。他機種と比べ、購入しやすい価格面も、魅力と言えます。
	スイッチオンしてからログイン画面まで、あっというまに起動（約 10 秒）するのは、ストレスを感じず嬉しい。ところでメリットは、分かったけど、デメリットはないの？
	少し重いのが難点かな。来年度から小学校 1 年生も、「学習用端末」を持ち帰ることとなります。導入予定の端末は、ディスプレイ 11.6 インチ。本体寸法は、約 29cm×20.4cm で、厚さ約 2 cm（本体ケースは、別途区で用意）。重量 1.3 kg は、低学年の児童にとって、気になる重さかも。数年先に教科書がデジタルになれば、ランドセルも軽くなりますけど。
	学校から持ち帰る教科書をどうするかを含めて、工夫しないといけないかもね。それと、通学用のバッグを購入する際は、端末の収納しやすさなども、考慮する必要があると思う。

◎スタディサプリの積極的な活用で、家庭学習の習慣を形成

	『1 人 1 台端末』の配備により、「時間や場所にとられない、学校の枠を超えた学び」を誰もができるようにになります。つまり、学校のみならず、家庭で「学習用端末」を上手に活用することが、『1 人 1 台端末』の価値を高めることとなります。そのため、『GIGA スクール構想』も見据えながら、今から、端末を使った家庭学習の習慣を定着させていくことが大切なのです。
	そのためにも、今年度、区が提供しているスタディサプリアプリ（小学校 4 年生から中学校 3 年生を対象）を積極的に活用して、学校の授業の予習や復習に取り組むことが大事なんだね。
	スタディサプリアプリは、一人ひとりの理解度や進度に応じた学習を反復して進めることができます。動画の授業スタイルなので、習ったことのない新たな分野も、スムーズに学ぶことができます。講義の質もよく、優れた教材だから、最大限活用するべきだと思います。インターネット環境のない家庭には、引き続きタブレットの貸出しを行っているので、ぜひ区に相談してください。

北区教育委員会



City of Kita

〒114-8546 東京都北区滝野川 2-52-10

北区役所滝野川分庁舎 2 階 11 番 東京都北区教育委員会事務局

【構想全般に関すること】 教育政策課 TEL:3908-9279

【端末機器に関すること】 学校支援課 学校支援係 TEL:3908-9293

【学習全般に関すること】 教育指導課 指導係 TEL:3908-9287